

[説明資料] 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的、利用方法、作品自体やその製作過程で工夫したことを文章、写真、図などで説明。この用紙1枚に記入後、PDFファイルを作成。

学校名	岐阜大学	個人名	相宮 隆二	作品名	国産木材の利用 風呂椅子
-----	------	-----	-------	-----	--------------

製作の動機

化石燃料を始めとする各種資源がいずれは枯渇するという現実と直面している今、国産木材を使うことがどのような社会的影響を持っているのか、教育の場で考えさせていかなくてはならない。中学校技術科のものづくり題材として、国産ヒノキを用い、かつ有用な題材というテーマで、風呂椅子の製作をした。



- ・天板を支える両脚について、左右にころばせてある。我が国が誇る、さしがねによる規矩術の基礎を学ぶことができる。
- ・ほぞの胴付部に関しては、精密な作業が要求される。しかし、その他のほぞ穴等については、最後にくさびを使って締めつけるため、多少遊びがあっても構わない。中学生でも十分に製作することのできる題材ではないだろうか。



- ・この風呂椅子は、左のように各部品に分解することができる。題材を長く使っていくという観点に立てば、製作物の一部が破損したとしても、特定の部品を交換または補修すればまた使うことができるというのは、大きな利点ではないだろうか。
- ・風呂椅子は、製作者だけが使うものではなく、それを取り巻く家族全員が使うことが想定される。他者のためのものづくりという視点を中学校技術のものづくり学習に取り入れることができるのではないか。

・プラスチック製品が広く普及している風呂椅子であるが、化石燃料を原料にした製品と、再生可能な資源とされている木材製品とについて、両者のメリットデメリットを考えさせることで、消費者としてどのような製品を使うことが社会の利益につながるのか考えさせていきたい。